

◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(20歳代女性)あります。本年の累積報告数は20例となっています。詳細は下記ホームページを御覧ください。
○京都市感染症情報センター「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が2例(40歳代及び50歳代男性)あります。本年の累積報告数は12例となっています。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(50歳代男性)あり、症状は発熱、全身倦怠感、菌血症です。感染経路は不明です。本年の累積報告数は60例となっています。
京都市では、肺炎球菌ワクチンを定期接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLをご参照ください。
○京都市が実施する定期の予防接種について(子どもの予防接種)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>
○高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種について
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>
- 梅毒の報告が1例(30歳代女性)あり、症状は梅毒性バラ疹、扁平コンジローマで、推定感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は32例です。

◆ 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

- 京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は1.55(65例)となり、前週0.79から大幅に増加しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 11例(肺結核 6例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 4例
【1月以降の累積報告数 258例(肺結核 137例, その他結核 58例, 潜在性結核感染者 63例)うち喀痰塗抹陽性 64例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 20例】
- 五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 2例【1月以降の累積報告数 12例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 60例】
- 五類:梅毒 1例(早期顕症)【1月以降の累積報告数 32例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.03	2
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.00	168
	② RSウイルス感染症	1.55	65
	③ 流行性耳下腺炎	1.40	59
	④ 手足口病	0.64	27
	⑤ 咽頭結膜熱	0.62	26
眼科	流行性角結膜炎	0.70	7

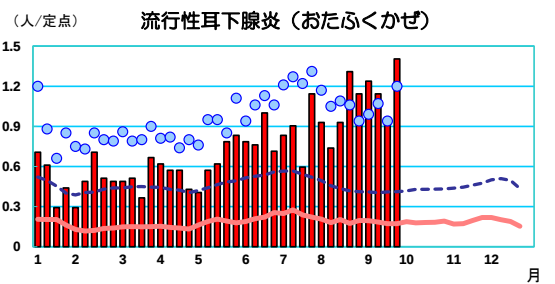
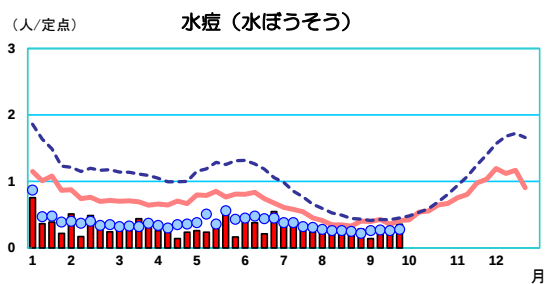
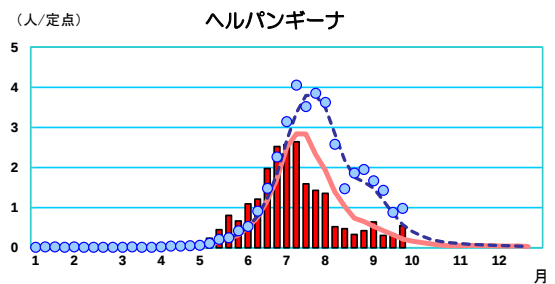
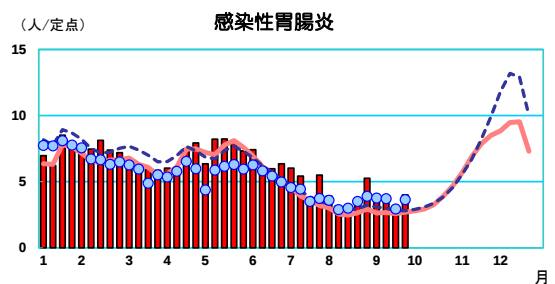
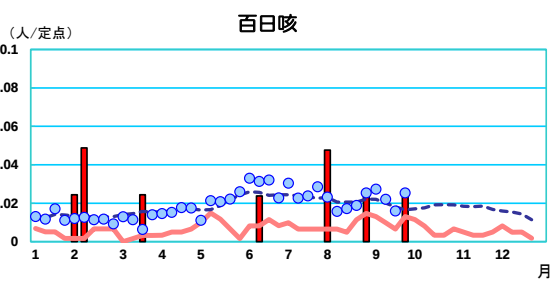
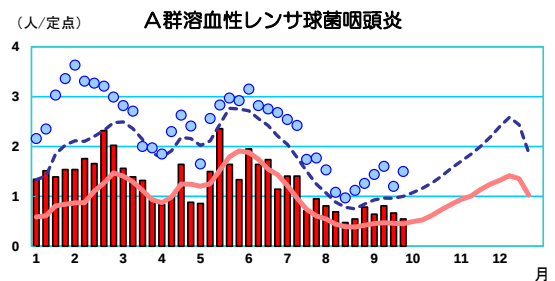
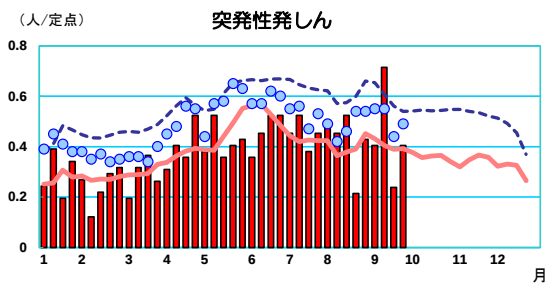
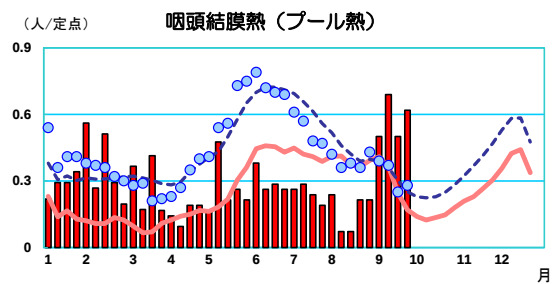
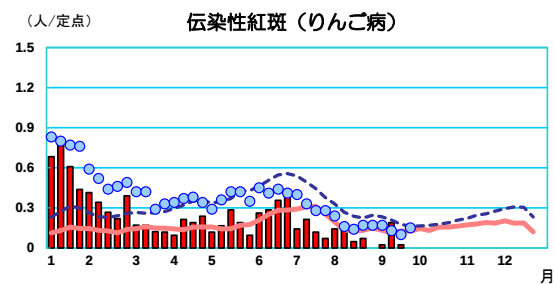
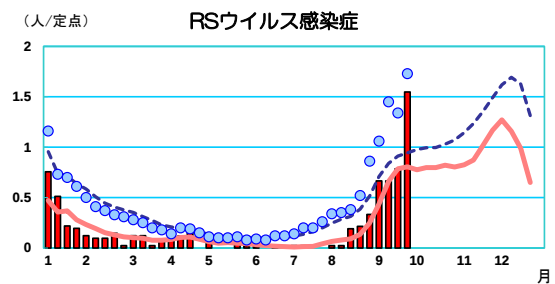
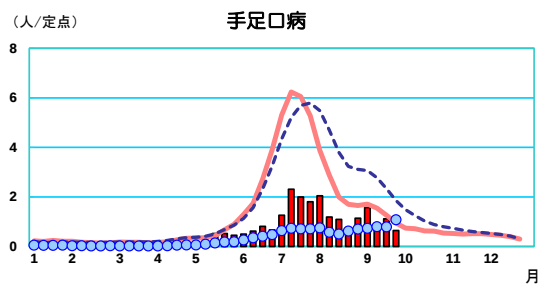
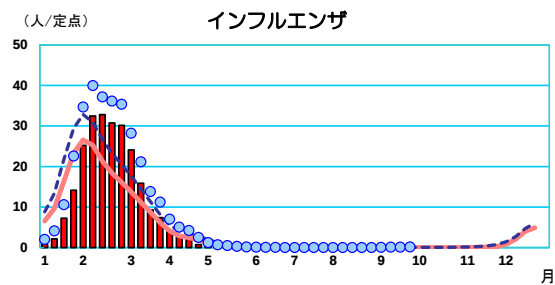
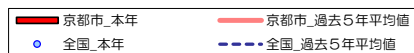
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成28年10月6日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ*及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



第39週(9月26日～10月2日)トピックス: <RSウイルス感染症>

京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は1.55(65例)となり、前週0.79から大幅に増加しました。第33週以降、京都市の過去5年平均値を連続で上回っています(図1)。過去5年間の同時期と比較しても今週は平成26年に次いで高い値となっています(図2)。全国でも同様の傾向が見られ、定点当たり報告数は過去5年間の平均値を大きく上回っており、都道府県別では41都府県で前週から増加し、多い順に石川、新潟、宮城、山形となっています(図3)。例年9月頃から患者数が急増し、秋から冬にかけて報告数が多いことから、今後の流行期に向けて注意が必要です。

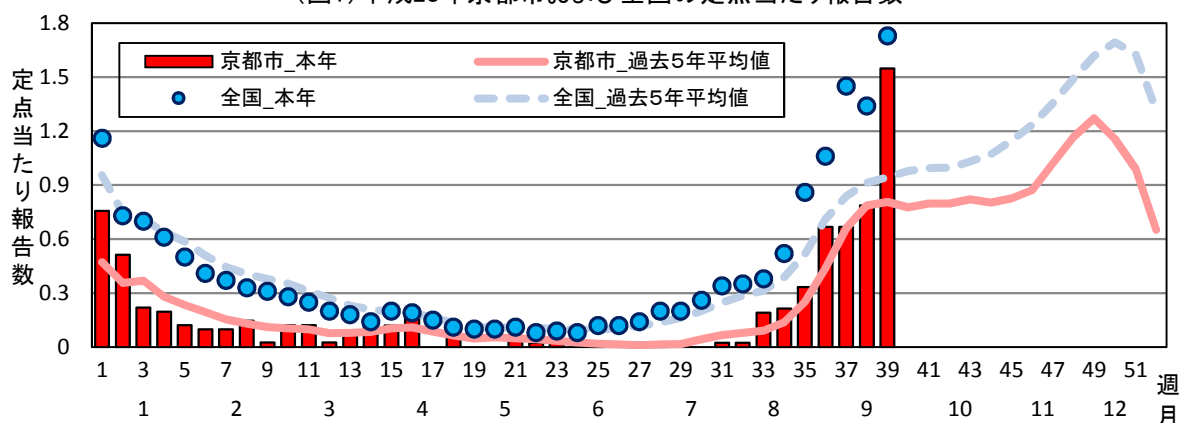
本感染症は、RSウイルスを病原体とし、乳幼児に多い呼吸器感染症です。通常4～6日間の潜伏期間を経て発熱、鼻汁などの症状が数日続きます。多くは軽症ですが、乳児で初めて感染した場合には重症化しやすく、ひどい咳、喘鳴、呼吸困難などの症状が現れ、場合によっては細気管支炎、肺炎へと進んでいきます。

咳などの呼吸器症状のある人は可能な限り、乳幼児との接触を避けることが予防につながります。子供に日常的に接する人は、流行時期は特に、感染予防のためマスクを着用することが大切です。また、子供が触れるおもちゃや手すりなどはこまめに消毒し、流水・石鹸による手洗い及び手指消毒を励行しましょう。

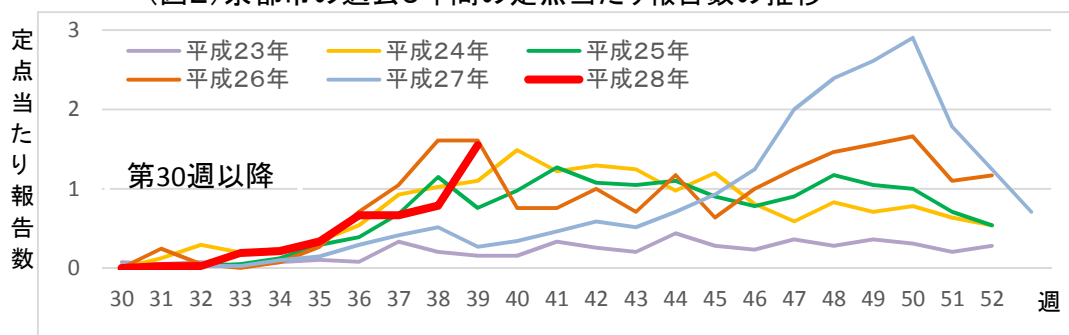
京都市では「京都市子どもの感染症」(ポスター及びリーフレット)を発行しています。今月はRSウイルス感染症を紹介しています。下記URLを御参照ください。

○ <http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000146238.html>

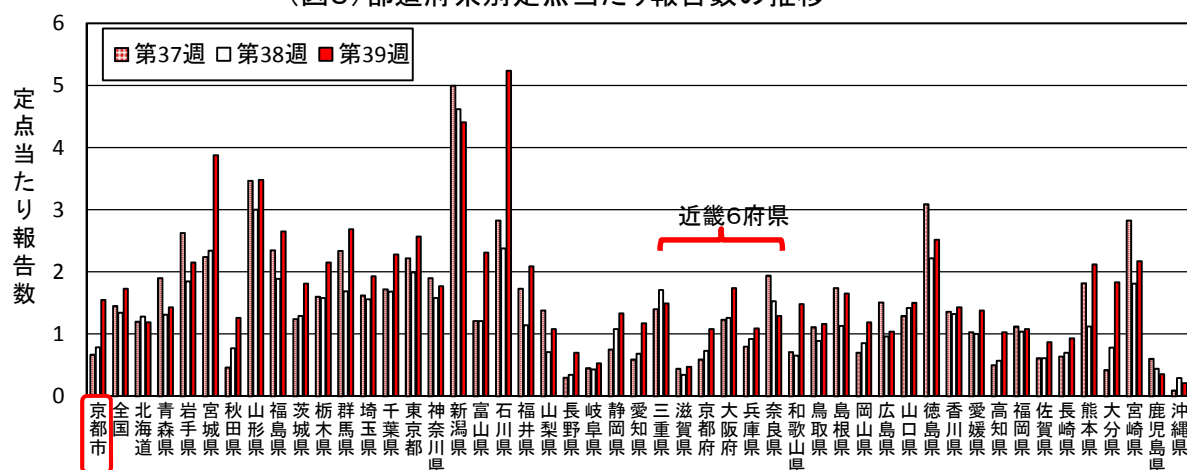
(図1)平成28年京都市および全国の定点当たり報告数



(図2)京都市の過去5年間の定点当たり報告数の推移



(図3)都道府県別定点当たり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第39週

疾病,行政区別報告数

平成28年9月26日～平成28年10月2日

データ入手日:平成28年10月6日

	インフル エンザ (※1)	RS ウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	頭A 群溶血 性レン サ球菌 咽	感染性 胃腸炎	水 痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百 日 咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎 (※2)	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎(※3)	感染性 胃腸炎 (※4)
男女合計																			
北	-	4	1	-	2	1	2	-	1	-	1	-	-	2					
上京	-	2	-	1	2	1	2	-	1	-	-	-	-	1					
左京	1	10	1	3	35	1	6	-	1	1	2	4	-	-					
中京	-	5	1	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
東山	-	4	-	1	14	1	-	-	2	-	-	-							
山科	-	3	2	6	3	3	2	-	1	-	-	13	-	-					
下京	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	5	1	7	-	1	-	-	-	5	8							
右京	-	13	6	5	25	2	3	-	5	-	5	8	-	4					
伏見	1	16	5	2	45	6	9	-	5	-	7	12	-	-					
西京	-	8	5	3	29	-	2	-	1	-	1	14	-	-					
京都市計	2	65	26	23	168	15	27	-	17	1	23	59	-	7	-	-	1	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフル エンザ (※1)	RS ウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	頭A 群溶血 性レン サ球菌 咽	感染性 胃腸炎	水 痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百 日 咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎 (※2)	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎(※3)	感染性 胃腸炎 (※4)
男女合計																			
北	-	1.00	0.25	-	0.50	0.25	0.50	-	0.25	-	0.25	-	-	2.00					
上京	-	0.67	-	0.33	0.67	0.33	0.67	-	0.33	-	-	-	-	1.00					
左京	0.14	2.50	0.25	0.75	8.75	0.25	1.50	-	0.25	0.25	0.50	1.00	-	-					
中京	-	1.67	0.33	-	2.00	-	-	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-	1.00	-	-
東山	-	2.00	-	0.50	7.00	0.50	-	-	1.00	-	-	-							
山科	-	0.75	0.50	1.50	0.75	0.75	0.50	-	0.25	-	-	3.25	-	-					
下京	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	1.67	0.33	2.33	-	0.33	-	-	-	1.67	2.67							
右京	-	2.60	1.20	1.00	5.00	0.40	0.60	-	1.00	-	1.00	1.60	-	4.00					
伏見	0.09	2.29	0.71	0.29	6.43	0.86	1.29	-	0.71	-	1.00	1.71	-	-					
西京	-	1.60	1.00	0.60	5.80	-	0.40	-	0.20	-	0.20	2.80	-	-					
京都市計	0.03	1.55	0.62	0.55	4.00	0.36	0.64	-	0.40	0.02	0.55	1.40	-	0.70	-	-	1.00	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第39週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年9月26日～平成28年10月2日

データ入手日:平成28年10月6日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ (※1)	年齢1	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	65	10	8	30	12	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽 頭 結 膜 熱		26	-	2	4	8	5	3	1	1	-	-	-	-	-	2						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		23	-	-	1	1	1	3	5	1	4	1	-	5	-	1						
感染性胃腸炎		168	4	7	20	24	15	11	17	12	12	7	7	17	5	10						
水 痘		15	2	-	3	1	1	2	2	3	1	-	-	-	-	-						
手 足 口 病		27	-	2	4	7	5	1	3	3	-	1	1	-	-	-						
伝 染 性 紅 斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		17	-	8	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
百 日 咳		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
ヘルパンギーナ		23	-	4	9	5	2	-	1	-	1	-	-	1	-	-						
流行性耳下腺炎		59	-	-	-	3	5	6	10	12	6	8	2	6	-	1						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	3	1	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ (※1)	年齢1	0.03	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	1.55	0.24	0.19	0.71	0.29	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽 頭 結 膜 熱		0.62	-	0.05	0.10	0.19	0.12	0.07	0.02	0.02	-	-	-	-	-	0.05						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.55	-	-	0.02	0.02	0.02	0.07	0.12	0.02	0.10	0.02	-	0.12	-	0.02						
感染性胃腸炎		4.00	0.10	0.17	0.48	0.57	0.36	0.26	0.40	0.29	0.29	0.17	0.17	0.40	0.12	0.24						
水 痘		0.36	0.05	-	0.07	0.02	0.02	0.05	0.05	0.07	0.02	-	-	-	-	-						
手 足 口 病		0.64	-	0.05	0.10	0.17	0.12	0.02	0.07	0.07	-	0.02	0.02	-	-	-						
伝 染 性 紅 斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		0.40	-	0.19	0.19	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
百 日 咳		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-						
ヘルパンギーナ		0.55	-	0.10	0.21	0.12	0.05	-	0.02	-	0.02	-	-	0.02	-	-						
流行性耳下腺炎		1.40	-	-	-	0.07	0.12	0.14	0.24	0.29	0.14	0.19	0.05	0.14	-	0.02						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.70	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	0.10	0.30	0.10	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		1.00	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第39週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年10月6日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	1	-	-	3	2
RSウイルス感染症	9	14	28	28	33	65
咽頭結膜熱	9	9	21	29	21	26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23	33	27	34	28	23
感染性胃腸炎	151	221	157	143	123	168
水痘	13	12	6	12	12	15
手足口病	28	48	66	36	47	27
伝染性紅斑	3	-	1	8	1	-
突発性発しん	9	18	17	30	10	17
百日咳	-	1	-	-	-	1
ヘルパンギーナ	14	18	27	13	14	23
流行性耳下腺炎	55	48	52	48	40	59
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	2	2	3	9	7
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	2	1
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	318	425	404	384	343	434

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	0.01	-	-	0.04	0.03
RSウイルス感染症	0.21	0.33	0.67	0.67	0.79	1.55
咽頭結膜熱	0.21	0.21	0.50	0.69	0.50	0.62
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.55	0.79	0.64	0.81	0.67	0.55
感染性胃腸炎	3.60	5.26	3.74	3.40	2.93	4.00
水痘	0.31	0.29	0.14	0.29	0.29	0.36
手足口病	0.67	1.14	1.57	0.86	1.12	0.64
伝染性紅斑	0.07	-	0.02	0.19	0.02	-
突発性発しん	0.21	0.43	0.40	0.71	0.24	0.40
百日咳	-	0.02	-	-	-	0.02
ヘルパンギーナ	0.33	0.43	0.64	0.31	0.33	0.55
流行性耳下腺炎	1.31	1.14	1.24	1.14	0.95	1.40
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.40	0.20	0.20	0.30	0.90	0.70
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	2.00	1.00
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	7.88	10.26	9.77	9.37	10.78	11.82

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。